





天のつぶ

※本パンフレットで使用している写真はイメージです。実際のお米やほ場等とは、異なる場合がございます。



福島県水田畑作課







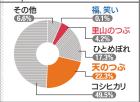


「ふくしまの米」づくり

全国で3番目に広い県土を有する福島県は、豊富な水源と肥沃な大地に恵まれ米づくりに適しています。 南北に走る3つの山並みによって、西から『会津』、中央の『中通り』、太平洋に面した『浜通り』の3地 域にわけられ、それぞれ地域の特性を活かした米づくりが行われています。恵まれた環境のもと生産 者の熱意と取組が、毎年高い品質と安定した収量に繋がっています。 福島県の米づくりの現状と取組をご紹介します。

データで見る福島県の米づくり

品種別作付割合



※令和5年作付用種子配付数量からの推計 (福島県調べ)

安定した収量



福島県の10a当たりの収量は、 561kgで全国6位です。その年の 作柄を示す作況指数でも、近年 100~102の範囲で推移してお り、安定した出荷が見込めます。

※令和元~令和5年產米(農林水產省 作況調

栽培に適した気象条件



8月~9月の登熟期に気温の昼夜較差が 大きいと、米粒の充実が良くなり収量や 品質に良いとされています。県内主要都 市と全国県庁所在地を比較したところ、 会津若松市が最も大きく10℃あります。

※令和元~令和5年8月~9月の平均(気象庁 過去の気象より)

安定した品質



全国的に登熟期の高温障害によ る品質低下で、1等米比率の低下 がみられる中、福島県産米は1等 米比率の5カ年平均が92.9%で す。(全国平均:79.0%)

※平成30~令和4年產米(農林水産省 農産物 検査結果より)

作付面積と収穫量



福島県では、主食用米の作付面 積が5万3.100haで全国6位で す。また、収穫量も29万7,900tで 全国7位となっています。

※令和5年産水陸稲の収穫量(農林水産省調

安全な米づくり



福島県では安全な米づくりを目 指して、「GAP日本一」を合い言 葉に、安全と品質の指標となる GAP認証(水稲)の取得を進めて います。

※令和5年3月31日現在(福島県調べ)

福島県オリジナル品種

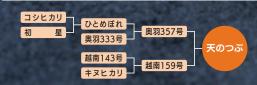
「天のつぶ」の魅力・

平成23年(2011年)にデビュー。粒ぞろいが良く、光沢があり、しっか りとした食感が魅力で、冷めても美味しいのが特徴で、炒飯・丼物・ し飯・弁当に最適な品種です。

県内全域で栽培されていて、等級低下の原因となる白未熟粒の発生が 少なく倒伏もしにくいことから、天候に影響されにくい安定した品質と 収量が見込めます。

地域別

■系譜 ■干粒重 22.7g(コシヒカリ 21.9g)



■福島県内での「天のつぶ」栽培状況

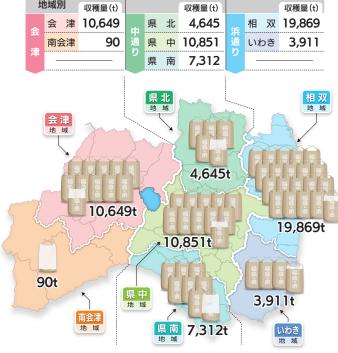
天のつぶの収穫量



※令和5年産米(福島県推計値)

品種の魅力が知られ るとともに、作付が広 がり、収穫量が増えて います。

「ひとめぼれ | や 「コシヒカリ | に 比べ耐倒伏性に優れた 「天のつ ぶ」は、いもち病(穂いもち)にも 強く、栽培しやすい品種です。デ ビュー以来、その魅力が知られる とともに福島県全域に作付が広 がって、今後も安定した品質と収 穫量が見込めます。



生産者が伝えたい「天のつぶ」の魅力と取組

種子生産で品質安定を後押し

優良種子の生産で「天のつぶ」の作付を足元から支えている農家の方に、 「天のつぶ」の魅力や栽培の取組などを伺いました。 なかでも長年、栽培しているからこそ分かる「天のつぶ」の良さを教えていただきました。



いただければと

Q1 生産者が感じる「天のつぶ」の良さとは

我が家では1年を通して食べている 飽きない美味しいお米です。

現在は4.5ha(内1.5haが主食用米)の「天のつ ぶ」を栽培しています。

食べてみた印象は、粒張りが良く、食味も良いの で、良いお米が登場したと思いました。いまでは我 が家は1年を通して「天のつぶ」を主食用として食 べています。

Q2 実践している生産の工夫や取組は

作付前の土づくりと農作業の 省力化にも取り組んでいます。

種子生産の経験から、生産性の向上と品質を 良くするために、土づくりに力を入れています。 作付前に土壌分析を実施し、結果をもとに土壌 改良資材を散布するなどしています。

また、農作業の省力化や事故防止にも、積極的 に取り組んでいます。

「天のつぶ | 生産者

佐藤 敬さん (いわき市)

水稲を6.5ha作付する米農家。その内4.5haに「天のつぶ」を作付 する佐藤さんは、「主食用米」(1.5ha)の他に、高い栽培技術と安 定した品質が求められる「種子」(3ha)を生産しています。2021年 FGAP認証取得



穂ぞろい期を迎えた水田では、晴天の午前中に 次々と開花する「稲の花」がみられます。



農業用ドローンの活用で防除等の省力化を実現。 スマート農業にも積極的に挑戦!



収穫期が近づき黄金に輝く稲穂。 一年の作業が報われる、刈り取りの瞬間を迎えます。

炊飯の専門家が感じた「天のつぶ」の特徴

外は「しっかり」、中は「ふっくら」で 油や汁が染み込み過ぎない良いお米。 炒飯、丼物におすすめ。



業務用厨房機器総合メーカー 株式会社AIHO 炊飯研究課 顧問 鈴木 好司さん

福島県産米は、「日本でもトップクラスに粒が大きい」 のが特徴です。粒が大きいお米は炊きやすく、均一な 炊き上がりになります。また美味しいお米の重要な要 素の「ツヤ」と「粘り」のもととなる「味度値(おねば)」 が、一般のお米より1~2割程度高いのも特徴です。 これらのことから福島県産米は、「ツヤと粘りがあっ て、粒が大きく存在感のあるお米」と言えます。

さらに「天のつぶ」は、表面が「しっかり」していて、適度 な粘りがあるので、「食べるとさっぱりと、のど越しが 良く、中はふっくらしたお米」です。

表面がしっかりしているので、油や汁が染み込み過ぎ ず「ベチャベチャ」した食感にならず、「炒飯」や「丼物」 に調理して食べるのがおすすめです。

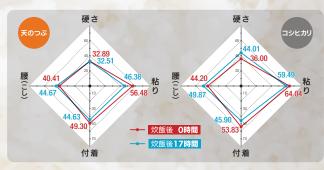
また、時間が経過しても硬さや腰などの「食味値」の変 化が少ないので、炊きたてはもちろん「おにぎり」や 「酢飯」でも美味しくいただけます。

■食味チャート

炊飯測定結果

天のつぶ コシヒカリ 炊飯機器 白飯/IH 炊飯量 450g 90% 加水率 米飯増加率(倍) 2.31 2.27 米飯含水率(%) 62.7 60.0 味度値(おねば) 84 食味値(炊飯後0時間) 76 85 // (炊飯後 17時間) 72 84

そしゃく測定値と評価(時間経過による違いと、コシヒカリとの比較)



「硬さ」ご飯を噛んだ時の硬さ(最大値) 「腰(こし)」ご飯を噛んだ時の弾力(噛む時の仕事量)

「粘り」ご飯から歯を引き離す時の粘着力(引き離す時の仕事量) 「付着」ご飯から歯を引き離す時の強さ(最大値)

<株式会社AIHO 炊飯テスト報告書より> ※味度値、食味値は100点満点でのスコアです。



中華料理

炒飯専門店 東や3代目 オーナーシェフ

孝之さん (いわき市)

昭和23年(1948年)横浜市で食堂として創業。 10年後いわき市に移転し64年間営業。一昨年 末、家族の体調悪化によりやむなく閉店しました が、地元の仲間の応援もあり昨年(令和5年)6月 に炒飯専門店として再オープンしました。

「台湾高雄市の友人が絶賛した『天のつぶ』の炒飯を、 国内はもちろん海外のお客様にも食べて欲しい!]と 熱く語るオーナーシェフ!

Q1 素材としての「天のつぶ」の魅力は

炒飯に相性が良い3つの理由。

1つ目は冷めても美味しいこと。2つ目が粒が大きくて食べご たえがあること。3つ目が油やしっかりした味付けと相性が良 く、炒飯に最適なお米だと思います。

他のお米でも試したのですが、「天のつぶ」は短時間で手早く 調理でき、仕上がりもパラパラで、しかもモッチリした食感にな ります。台湾高雄市の友人も美味しいお米だと絶賛でした。

材料(1人分) ----

- ●ご飯(天のつぶ・300g) ●卵(Mサイズ1個)
- ●納豆1パック(タレ付き) ●食べるラー油(小さじ1)
- ●塩(3g)
- ●コショウ(適量) ●油(大さじ3)
- ●豆苗(お好みで)
- ●削り節(お好みで)

●ご飯の用意

- 【炊きたてご飯の場合】炊飯器から出して30分 程度冷ます。【冷蔵庫の残りご飯の場合】ラップ をかけて電子レンジ(500W)で1分半~2分程 度温める。ご飯が硬いときは、日本酒(大さじ 1)を一振りしてから温める。
- ②卵は溶かずに容器に移しておく。(予めご飯と卵 を混ぜておいても良い)
- ③納豆と付属のタレを混ぜ合わせる。
- ●フライパンが温まったのを確認してから油を入 れる。つぎに卵、ご飯の順番で手早く入れる。
- 局家庭では温度が下がるので、フライパンは振ら ずに、ヘラを使って素早く切るように混ぜ合わ せ炒める。(30秒~1分間は炒めることに集中)

天のつぶ

で作る

納豆ラ

- 68割程度混ざったら、塩・コショウを入れ30秒 程度さらに炒める。
- ざったら完成です。
- ⑥お好みで豆苗・削り節をトッピングします。
- ※納豆・豆苗が炒飯に不足しがちな栄養素を補 い、ラー油・削り節が納豆のニオイを抑えてくれ